

都市再生整備計画

ち い き きよ て ん い ち の み や
地域拠点一宮地区

あ い ち と よ か わ し
愛知県 豊川市

平成31年4月 (当初)
令和2年4月 (第1回変更)
令和3年3月 (第2回変更)
令和4年3月 (第3回変更)
令和5年3月 (第4回変更)
令和6年3月 (第5回変更)

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	愛知県	市町村名	豊川市	地区名	地域拠点一宮地区	面積	168.8 ha
-------	-----	------	-----	-----	----------	----	----------

計画期間	令和 元 年度 ～ 令和 5 年度	交付期間	令和 元 年度 ～ 令和 5 年度
------	-------------------	------	-------------------

目標

大目標:安心して子育てできるまちづくり

目標1 地域拠点にふさわしい、コンパクトで魅力あふれる都市空間の形成

目標2 安全・安心に暮らし続けられる生活環境づくり

目標3 子育て世帯にとって暮らしやすい住環境の整備

目標設定の根拠

都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。
豊川市立地適正化計画(平成29年2月策定)

【都市の将来像】

歴史・文化が息づく自然豊かで快適な持続発展都市 とよかわ

【まちづくりの方針】

○都市機能の集約に向けた方針

(1)鉄道の利便性を活かし、主要な鉄道駅周辺へ必要な都市機能を配置 (2)全ての市民の生活を支え、多世代の交流を促進する都市機能を配置

(3)周辺拠点との連携による機能補完も含め、必要な都市機能を効率的に確保

○居住の誘導に向けた方針

(1)都市機能が集積した生活利便性の高い拠点周辺の市街地に人口が集積したコンパクトなまちを形成 (2)市民等の多様な居住意向に対して市内で居住地の選択が可能なまちを形成

(3)自然災害に対し安全な地域への居住を誘導

○拠点との交通ネットワークの充実に向けた方針

(1)本市の公共交通軸を形成する鉄道4路線について、高い利便性を維持 (2)地域のニーズや需要に即したメリハリのある効率的な公共交通体系を形成

(3)拠点間を連絡する幹線道路ネットワークの形成・生活道路の安全と快適性を確保 (4)誰もが安全・快適に移動できる交通環境を確保

○活力とにぎわいの創出に向けた方針

(1)市内外からの交流人口の拡大による雇用機会を創出することで地域経済の活性化を図る (2)通勤しやすい居住地を確保 (3)多様な交通手段により移動可能な広域交通環境を形成

本地区は、豊川市の北東部に位置し、合併前の一宮町の中心的地域を含んだ地区である。

地区インフラ整備に関しては、国道151号及びJR飯田線が地区の中心を南北に、東名高速道路が地区の南側を東西に貫き、国道151号と東名高速道路の交差部分には東三河地域の自動車交通の玄関口豊川ICが整備され、自動車交通量が非常に多い地区である。しかしながら、国道151号に関しては、本地区より片側一車線の道路となり、交通渋滞が発生する区間となっている。そのため、バイパス整備が行われており、この整備に向けた市民の期待は大変大きいものである。

また、地区の中心部には、平成16年度に事業認可を受けた、一宮大木土地区画整理事業による基盤整備に着手し、道路、水路、公園等の公共施設の整備改善と土地利用の効率化を推進し、利便性、快適性、安全性等の住環境の向上を図るとともに、住宅地としてふさわしいまちづくりを目指し、事業が進められてきました。

本地区周辺については、平成18年度から平成22年度までを計画期間とする「都市再生整備計画(一宮地区)」、平成25年度から平成29年度までを計画期間とする「都市再生整備計画(豊川一宮地区)」において、道路等のインフラ整備を実施してきたが、平成29年2月に策定した「豊川市立地適正化計画」において、本地区内にあるJR飯田線三河一宮駅の周辺を本市の地域拠点に位置付けており、地域拠点にふさわしい、コンパクトで魅力あふれる都市空間の形成が急務となっている。

また、地区内人口のうち老年人口が約24%を占める地区でありながら、年少人口が増加傾向にあるため、乳幼児から高齢者までが安全・安心に暮らし続けられる生活環境づくり、子育て世帯にとって暮らしやすい住環境の整備が求められている。

課題

・安全・安心に関する事業を推進し、都市の魅力を上向きさせ、定住人口の増加を図る必要がある。

・健康や子育てのしやすさに配慮した住みよい地域づくりを推進し、地域住民が安心して生活できるまちづくりを推進する必要がある。

・子育て世帯の増加に伴う公園整備や共働き世帯のための児童クラブ室の整備等、地域住民のニーズを的確に把握した都市基盤整備を推進し、住民満足度の向上を図る必要がある。

・地域に愛着を持って住み続けてもらえるよう、土地区画整理事業地内へ転入する住民を含めた幅広い世代での地域コミュニティの形成を推進する必要がある。

将来ビジョン(中長期)

・第6次総合計画において、「道路交通の円滑化」として「道路の整備」が、「誰からも愛される緑地・公園」として「公園の整備」が、「安心して子どもを生育しやすい環境」として「放課後児童クラブの運営」が、「安全・安心事業」として「交通安全対策の強化」、「防犯対策の推進」、「防災対策の強化」、「消防・救急体制の充実」が位置付けられている。

・平成21年8月に策定された新市基本計画において、「光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち」を新市の将来像として定めている。また、防犯・交通安全対策の強化等に努めることで「安全で快適な生活環境が整っていきます」、ゆとりある住環境の形成や都市基盤の計画的な整備等に努めることで「住み心地よいまちの空間が生み出されています」、まちの特徴を活かし観光や交流を通じた活力ある生活環境づくりなどにより「個性があり活力あるまちになっています」を、新市のまちづくりの目標としている。

都市構造再編集集中支援事業の計画 ※都市構造再編集集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方

- (1) 人口減少、少子高齢化により機能低下が想定される都市機能がある中で、将来にわたり必要な機能を維持し、自動車を使わずに誰もが利用できるよう、鉄道の利便性を活かし、主要な鉄道駅周辺へ必要な都市機能を配置する。
- (2) 市域を横断する名鉄豊川線や姫街道沿線の拠点周辺では、市外や市内各所からアクセスしやすい立地特性を活かし、全ての市民の生活を支え、多世代の交流を促進する都市機能を配置する。
- (3) 後背地に豊かな自然が広がる拠点では、将来にわたり住民の交流や豊かな定住環境を支えることができるよう、周辺拠点との連携による機能補完も含め、必要な都市機能を効率的に確保する。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方

- 本市立地適正化計画において、誘導施設及び各拠点における充足状況を整理している。
本計画の計画区域に含まれる地域拠点一宮地区の状況については、以下のとおり。
- 維持・拡充(都市機能誘導区域に立地しておりその機能を今後も維持・拡充する)
 - ・通所・訪問系高齢者施設、通所・訪問系障害者福祉施設、通所・訪問系障害児福祉施設、幼稚園・保育所等、大規模小売店舗、支所
 - 補完(都市機能誘導区域外ではあるが駅の徒歩圏にある)
 - ・医療施設
 - 誘致(駅の徒歩圏になく新たに都市機能誘導区域に誘致する)
 - ・図書館、公民館・生涯学習会館

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

- ・居住地として便利な居住空間及び都市空間としてにぎわいのある都市環境を確保するため、街路事業や土地区画整理事業等の都市基盤整備を実施する。
- ・既存公園の適切な維持管理や改修・再整備を行うことで公園の魅力向上を図り、居住者の「憩い」、「レクリエーション」、「コミュニケーション」の場の提供を推進する。
- ・居住地では落ち着いた空間を、商業地ではにぎわいを演出する空間の創造をめざし、既存の民有地緑化制度を活用するとともに、新たに景観計画の策定について検討し、本市の自然環境を活かした緑が映える良好な景観形成を推進する。
- ・通学路をはじめ、誰もが安全・安心に移動できる歩行空間を確保する。
- ・市民生活を支える公共施設や道路等の都市基盤の安全性や機能を持続的に確保していくため、長期的な視点をもって、公共施設等の更新・統廃合・長寿命化を総合的かつ計画的に推進する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
地区内人口の維持	人	地区内における小学校区人口の増減	豊川市立地適正化計画において、拠点地区の人口の維持を目標としていることから、定住人口の推移を示す指標として、地区を含む小学校区人口を指標とする。	16,268	H30	16,268	R5
一定時間内に避難できる人数	人	地区内において、自宅から避難地へ3分以内に歩いて避難できる住民数の増減	安全・安心に暮らし続けられる生活環境づくりを目標としていることから、災害時の避難の円滑化を示す指標として、一定時間内に避難地へ避難できる住民数を指標とする。	5,304	H30	7,413	R5
安全・安心分野に関する市民満足度の向上	ポイント	市民意識調査のうち、安全・安心分野等(交通安全対策等)に係る市民満足度の合計値	魅力あふれる都市空間の形成を目標としていることから、市民のまちづくりに対する満足度を示す指標として、市民意識調査の結果をポイント化し指標とする。	98	H29	659	R5
建設・整備分野に関する市民満足度の向上	ポイント	市民意識調査のうち、建設・整備分野(住環境の整備等)に係る市民満足度の合計値	魅力あふれる都市空間の形成を目標としていることから、市民のまちづくりに対する満足度を示す指標として、市民意識調査の結果をポイント化し指標とする。	-180	H29	119	R5

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・地域拠点にふさわしい、コンパクトで魅力あふれる都市空間の形成 地域の特性を活かし、基盤整備や生活サービス等の生活利便性の高い、活力とにぎわいのあるまちづくりを進める。</p>	<p>【基幹事業】 公園((仮称)大木3号公園) 公園((仮称)大木4号公園) 公園((仮称)大木5号公園) 公園((仮称)大木6号公園)</p> <p>【提案事業】 まちづくり活動推進事業(公園整備ワークショップ)</p> <p>【関連事業】 公園整備事業((仮称)大木2号公園) 道路(市道麻生田中荒子下新切線) 道路(市道麻生田中荒子7号線) 豊川市拠点地区定住促進事業費補助金 豊川市都市機能立地促進事業費補助金 定住促進子育て支援事業 土地区画整理事業(一宮大木土地区画整理事業) 公園整備事業(上新切中公園)</p>
<p>・安全・安心に暮らし続けられる生活環境づくり 地域住民の安全性、居住性等を確保するために、道路、公園等の公共施設の改善と土地利用の効率化を推進する基盤整備事業等を行う。</p>	<p>【基幹事業】 公園((仮称)大木3号公園) 公園((仮称)大木4号公園) 公園((仮称)大木5号公園) 公園((仮称)大木6号公園)</p> <p>【提案事業】 地域創造支援事業(安全・安心事業)</p> <p>【関連事業】 公園整備事業((仮称)大木2号公園) 道路(市道麻生田中荒子下新切線) 道路(市道麻生田中荒子7号線) 豊川市拠点地区定住促進事業費補助金 豊川市都市機能立地促進事業費補助金 定住促進子育て支援事業 土地区画整理事業(一宮大木土地区画整理事業) 公園整備事業(上新切中公園)</p>
<p>・子育て世帯にとって暮らしやすい住環境の整備 年少人口の増加に伴い、公園や児童クラブ室等、子育て世帯や共働き世帯にやさしい住環境の整備を行う。</p>	<p>【基幹事業】 公園((仮称)大木3号公園) 公園((仮称)大木4号公園) 公園((仮称)大木5号公園) 公園((仮称)大木6号公園)</p> <p>【提案事業】 地域創造支援事業(安全・安心事業)</p> <p>【関連事業】 定住促進子育て支援事業 土地区画整理事業(一宮大木土地区画整理事業) 公園整備事業(上新切中公園) 公園整備事業((仮称)大木2号公園)</p>
<p>その他</p>	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	188.5	交付限度額	93.3	国費率	0.495
---------	-------	-------	------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費	費用便益比B/C
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
道路															
公園		(仮称)大木3号公園	豊川市	直	A=1,195㎡	R4	R5	R4	R5	45.7	45.7	45.7	0.0	45.7	-
公園		(仮称)大木4号公園	豊川市	直	A=1,394㎡	R3	R4	R3	R4	46.0	46.0	46.0	0.0	46.0	-
公園		(仮称)大木5号公園	豊川市	直	A=2,380㎡	R1	R2	R1	R2	48.4	48.4	48.4	0.0	48.4	-
公園		(仮称)大木6号公園	豊川市	直	A=1,408㎡	R4	R5	R4	R5	36.8	36.8	36.8	0.0	36.8	-
古都保存・緑地保全等事業															
河川															
下水道															
駐車場有効利用システム															
地域生活基盤施設															
高質空間形成施設															
高次都市施設	地域交流センター														
	観光交流センター														
	まらおこしセンター														
	子育て世代活動支援センター														
	複合交通センター														
誘導施設	医療施設														
	社会福祉施設														
	教育文化施設														
	子育て支援施設														
既存建造物活用事業															
土地区画整理事業															
市街地再開発事業															
住宅街区整備事業															
バリアフリー環境整備事業															
優良建築物等整備事業															
住宅市街地総合整備事業															
街なみ環境整備事業															
住宅地区改良事業等															
都心共同住宅供給事業															
公営住宅等整備															
都市再生住宅等整備															
防災街区整備事業															
合計										176.9	176.9	176.9	0.0	176.9	-

…A

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	交付期間内事業費		交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分	
地域創造支援事業	安全・安心事業	計画地区内	豊川市、各町内会	直、間	-	R1	R5	R1	R5	4.8	4.8	4.8	0.0	4.8
事業活用調査	事業効果分析調査事業	計画地区内	豊川市	直	-	R5	R5	R5	R5	3.0	3.0	3.0	0.0	3.0
まちづくり活動推進事業	公園整備ワークショップ	豊川市大木町地内	豊川市	直	4箇所	R1	R4	R1	R4	3.8	3.8	3.8	0.0	3.8
合計										11.6	11.6	11.6	0.0	11.6

…B

合計(A+B)

(参考)都市構造再編集中支援事業関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間単独	開始年度	終了年度	
合計											0

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間単独	開始年度	終了年度	
豊川市拠点地区定住促進事業費補助金	地域拠点一宮地区都市機能誘導区域内	豊川市		-					R1	R5	1.8
豊川市都市機能立地促進事業費補助金	地域拠点一宮地区都市機能誘導区域内	豊川市		-					R1	R5	5.0
定住促進子育て支援事業	豊川市一宮町地内	豊川市	厚生労働省	1箇所		○			H30	R1	36.0
土地区画整理事業	一宮大木土地区画整理事業	組合	国土交通省	A=31.1ha		○			H16	H29	5,047.0
公園整備事業	上新切中公園	豊川市							R1	R1	10.0
公園整備事業	(仮称)大木2号公園	豊川市		A=1,237㎡		○			R6	R7	50.4
道路整備事業	市道麻生田中荒子下新切線	豊川市		L=200m W=6m					R6	R10	204.6
道路整備事業	市道麻生田大荒子7号線	豊川市		L=200m W=6m					R6	R8	100.0
合計											5,454.8

6450.2

地域拠点一宮地区(愛知県豊川市)

面積	168.8 ha	区域	上野、一宮町、大木町、篠田町、上長山町、麻生田町の一部
----	----------	----	-----------------------------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。

